

医療保育士、病弱特別支援教育担当教師向け研修コンサルテーションについて

私たちは日本学術振興会科学研究費補助金による研究として、医療保育士、病弱特別支援教育担当教師向け専門研修のコンサルテーションを実施しております。実施者は、谷川弘治(西南女学院大学福祉学科)を代表とする研究グループです。

本コンサルテーションの企画は、医療フィールドに働く保育士及び教師の専門性の向上のために求められる知識、技術、倫理観の向上を目的とした研修の企画・実施への助言等をさせていただくものです。興味をお持ちの方は、谷川までご連絡ください。

平成 23 年 9 月 30 日

研究代表者 谷川弘治
西南女学院大学保健福祉学部教授
093-583-5251
kota@seinan-jo.ac.jp

<企画のご説明>

- 本コンサルテーションの目的は、効率的で効果的な保育士あるいは教師の研修プログラム策定ガイドラインを構築し広く普及することです。そのために、目的(研修プログラムガイドラインの検証)に必要な範囲で、コンサルテーションの経過と結果を研究使用させていただきます。
- コンサルテーションの対象は下記の通りです。
医療保育を担当されている保育士及び組織上の管理者(看護師長など)
病弱特別支援教育を担当されている教師、研修担当の教師及び管理者(学校長)
- コンサルテーションを行うスタッフは次の通りです。
北海道近辺 松浦和代(札幌市立大学)
関東近辺 谷口明子(山梨大学大学院)
九州近辺 谷川弘治(西南女学院大学)
- コンサルテーションの目標は、貴施設における研修プログラムの立案と円滑な運営を支援することです。研修プログラムは、医療フィールドで働くために必要な保育士あるいは教師の知識、技術、倫理観などの向上を図ることをねらいます。また、医師や看護師をはじめとする医療スタッフを含むチームとしての心理的ケア、発達支援を視野に入れます。

- コンサルテーションではつぎのサービスをご提供します。
 - * 保育士あるいは教師が所属する現場の実態とニーズを踏まえ、施設内で実施できる経験年数別の研修プログラム立案と運営について助言します。
 - * 医療スタッフ向けに保育あるいは教育のあり方を考える研修プログラム立案と運営を助言します。
 - * 研修会における講師の紹介・派遣を行います。
(研究グループからの派遣は原則として無料(遠方の場合は、交通費別途)で実施しますが、グループ外の方を紹介する場合はさらに謝金が必要な場合があります)
 - * 保育士あるいは教師向けに月1回程度のスーパービジョンを、目標と期限を決めて提供します。
これは、仕事を離れて、お仕事の振り返りをお手伝いするものです。

- 研修プログラムには、つぎのような要素を含みます。
 - * 経験年数別の研修ラダーの策定(必要とされる専門能力・スキルの特定、各時期の到達目標の決定、研修実施方法の検討)
 - * 基本となる講義(医療保育あるいは病弱特別支援教育の位置づけ・意義・課題に関する概説、病気の子どもと家族の心理支援、病院における保育支援、病弱教育)
 - * 実技系(子どもと家族の情報収集、個別保育支援計画立案法、個別教育支援計画立案法、日々の支援における配慮、医療スタッフとの連携法、危険予知トレーニング)

- 基本となるコンサルテーションに係る費用は原則無料です。
遠方の場合、交通費をご負担いただかねばならない場合があります。

- コンサルテーションに伴う貴施設の情報に関しては、下記のように取り扱います。
 - ①コンサルテーション(スーパービジョンを含む)で得ました貴施設の実態や患者さまの動向、スタッフの状況などの情報は、確実に保護いたします。
 - ②研究使用をお認めいただきたい情報の範囲と取り扱いにつきましては、貴施設と十分な協議を行い、本学および貴施設の倫理審査手続きを経るなど、厳格な手続きを経て決定します。
 - ③情報の研究利用をお認めいただけなくても、コンサルテーションをお受けできるように考えています。この場合、研究利用をお認めくださった施設とコンサルテーションの質が変わるということはありません。

- 詳細はご相談のうえ決定させていただきます。

資料

研修のねらいは概ね下表のように考えております。ただし、現場の実情を加味して調整を行います。

対象者	目標	説明
はじめの3年間	自立	個別支援を計画、実行して、振り返りができる 基本的な対象理解 個別の保育支援の手順を押さえている 他職種との協働ができる(わからないことは聞くことから) スーパーバイザーとともに実践の振り返りができる *教師では、この期間は短く設定できる場合があります
4年目から6年目	向上	状況に応じて支援を柔軟に変化させることができる 自らの行動傾向や感情状態を意識化し、見つめなおす 新たな方法論を組み込むことができる 後輩保育士の相談に乗ることができる 他職種の新人への教育ができる 職場の人的資源を活かすことができる
7年目から	マネジメント力	見通しを持って管理・運営を行える スーパービジョンができる *ここでの管理運営は管理職になることと同義ではありません

連絡先

西南女学院大学谷川研究室 kota@seinan-jo.ac.jp